

Contents

- 県連合会Letter ..... 2-3p
  - ・ 正副会長会・理事会
  - ・ 県青連 経営革新研修会
  - ・ FOOD STYLE Kansai 2022
  - ・ 県職協 メンタルヘルス研修会
  - ・ 職員研修会
  - ・ スーパーバイザー派遣事業
- あなたのまちの元気な企業・  
神河町地域情報 ..... 4-5p
- 商工会Letter ..... 6-8p
  - ・ CCコラム(福崎町・玉越博充氏)
  - ・ CC研修会
  - ・ ひょうごいいね! お店表彰
  - ・ 壮青年部 研修会
  - ・ 「兵庫県特産品モール」の開設について

2022. 2. 20  
第758号

# 兵庫県 商工連会報

偶数月20日発行 定価1部60円 発行人:兵庫県商工会連合会 代表者:志智宣夫 発行人住所:〒650-0013神戸市中央区花隈町6番19号 TEL.078(371)1261代  
http://www.shokoren.or.jp/ 編集人:幸田 徹 印刷所:有限会社浜田デザイン写植 会員の購読料は会費に含んでおります



▲「吉富瓦」100年の歴史を支えてきた4代目の桐月秀樹氏と奥様の恭子氏、5代目の正樹氏(左から)。

神河町

あなたのまちの元気な企業

歴史的景観を守る  
100年企業!

## 吉富瓦産業(株)

吉富瓦産業(株)は、神河町で瓦製造販売と屋根工事業を営む企業で、大正5年に創業した100年企業である。

同社オリジナルの「吉富瓦」「吉富赤瓦」を生産から屋根工事まで一貫して行う業態をとっている。

現在、4代目の桐月秀樹氏が代表を務め、5代目の正樹氏も営業担当として家業に従事している。

安価で大量生産の瓦が普及している中で、創業当時から地域に愛され周辺地域の景観に溶け込む「吉富瓦」の製造技術を受け継ぐことで、「生野銀山」や「銀の馬車道」などの地域の歴史的景観の保全にも貢献している。

(詳細は4頁)

Points



▲神河町の道の駅「銀の馬車道神河」にも吉富瓦が使用されている。

### 第3回正副会長・理事会および県幹部との懇談会を開催

〈県連合会〉

12月7日、兵庫県商工会館において、オンラインによる第3回正副会長会を開催した。また、12月14日、神戸ポートピアホテルにおいて第3回理事会を開催した。いずれも3議案を上程し、全て原案どおり承認された。議案については左記のとおり。

- 第1号議案 「定款」の一部改正について
- 第2号議案 「職員給与規程」の一部改正について
- 第3号議案 「職員再雇用規程」の一部改正について

また、第61回商工会全国大会に係る中小企業庁長官表彰の青年部功労者として、県青連会長の小泉星児理事が受賞をされたため、会議終了後に表彰伝達式を開催した。続いて、片山副知事をはじめとした県幹部との懇談会を開催した。地域の課題解決に向けた情報交換が行われ、有意義な場となった。



懇談会にて挨拶をされる片山副知事

### 食の総合商談展示会「FOOD STYLE Kansai 2022」

兵庫県商工会連合会が支援する23社が合同展示！

出展者の商品ブランドのさらなる認知度向上や販路開拓支援として、1月26日〜27日インテックス大阪で開催された「FOOD STYLE Kansai 2022」の支援を行った。出展した事業者は県下商工会から23社で、新型コロナウイルスの感染防止に努めるなか、約1万人の来場者を迎えた。

今回、出展者が訴求力を持たせてバイヤーとの商談を有利に進めることができるよう、「STORY」「STORE」「STREET」という3つの単語を掛け合わせた造語「STOREET」(ストリート)を考案し、「兵庫展五国STOREET」というコンセプトで、統一のロゴマークをあしらったブースデザインを23社が使用し、背面には約2mのタペストリーを設置、商品が来場者の目に留まりやすいようにした。バイヤーからは「商品が見やすい」などの声があり、出展者からも「見栄えが良く商品が映える」など好評であった。

「兵庫展五国STOREET」をコンセプトにした出展ブースの様子



2日間の展示を通して、平均57枚の名刺交換があり、最大200社とのバイヤーと出会えた出展者もあった。

また、当日の商談における成約が2件程あり、速報値ながらもほとんどの出展者から見込成約数の報告があり、平均5件の見込成約数があった。中には約15件の見込成約数がある出展者もあった。



▲バイヤーと商談をする出展者

当会としては、ポストコロナ時代において、「外食の小売化」など食品業界の新しい変化に対応するべく、今後も会員事業所等と商工会が一体となって取り組む販路開拓等の事業を支援する。

### 先輩の経験から学ぶ 経営革新研修会〈県青連〉

2月3日、西播磨地区の青年部が主幹となって、オンラインによる経営革新研修会を開催し、90名の青年部員が参加した。

はじめに、中小企業診断士の荒木慎吾氏及び赤宇経営をV字回復させた杉本氏から経営革新計画の制度、メリット等についてご説明していただいた。

その後、青年部員3名より経営革新計画の申請、取得に至った経緯、経営者としての成長等について発表していただき、参加者にとって有意義な研修となった。

#### 4月のこよみ

- 6日(水) 県青連 正副会長会・監事会・理事会
- 7日(木) 壮青年部 正副部長会・監事会・役員会
- 13日(水) 県女性連 正副会長常任理事会・監事会・理事会
- 20日(水) 壮青年部 通常総会・研修会
- 26日(火) 県女性連 通常総会・幹部講習会
- 27日(水) 県青連 通常総会・幹部講習会

#### 3月のこよみ

- 2日(水) 県女性連 正副会長常任理事会
- 7日(月) 人事管理委員会
- 8日(火) 総務委員会
- 壮青年部 役員会
- 10日(木) 共済事業委員会
- 14日(水) 事業委員会
- 県青連 正副会長会・理事会
- 15日(木) 正副会長会
- 24日(木) CC研修会
- 28日(月) 理事会・臨時総会

未来を変えていく、健康増進型保険。



住友生命保険相互会社 神戸支社  
〒650-0031 神戸市中央区東町126番地  
神戸シルクセンタービル7F  
TEL: 078-391-3229

“住友生命「Vitality」”スペシャルサイト  
<https://vitality.sumitomolife.co.jp/>



ジブラルタ生命は、お客さま一人ひとりを大切に心に届くサービスをご提供いたします。

“As safe as the Rock”

～ジブラルタ・ロックのように安心～

兵庫県商工会連合会が実施している商工貯蓄共済制度は、貯蓄・融資・保険がセットされた商工会の制度です。そのうち生命保険部分をジブラルタ生命が引き受けています

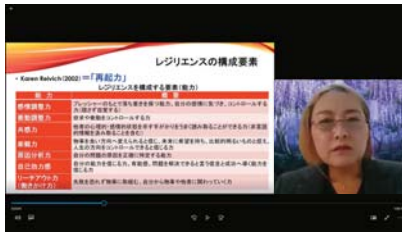


## マンガから学ぶ「レジリエンス」研修会を開催

〈県職員協議会〉

12月15日に、研修事業として、講師に大東文化大学 社会学部 助教の井島由佳氏を迎え、オンライン研修会を開催した。

今回は社会現象を巻き起こした「鬼滅の刃」を題材に、ストレス要因が増加している現代社会を生き抜くための力として必要な、「レジリエンス」(どんな逆境にも屈しない「柔軟な心」の重要性について解説していただき、それを高めるポイントについて学んだ。「レジリエンスを構成する要素(能力)を高めることで、柔軟な心を鍛えることができる」とのこと、コロナ禍で状況変化の激しい昨今における、日々の業務にも活かすことができる内容であった。



▲マンガのキャラクターやエピソードを織り交ぜたキャリアカウンセリングが人気の講師 井島由佳氏

## 職員研修 (12月～2月)

名称	日程	場所	講師	内容	人数
インボイス制度説明会	12月 3日(木)	Web	チーフアドバイザー 川淵 佳子氏	①適格請求書等保存方式の概要 ②適格請求書の記載方法等	76人 (延べ)
	12月 6日(月)				
テレワーク実践セミナー	12月10日(金)	Web	廣田 有樹氏	テレワーク実現に向けたポイントと事例紹介	38人
	12月17日(金)		荻野 暁美氏 岡本 友海氏	①オンライン営業のポイント ②オンライン採用導入のポイント	
商工会のインボイス研修会	12月10日(金)	兵庫県中央労働センター	櫻井繁樹税理士事務所 櫻井 繁樹氏	①適格請求書等保存方式の概要 ～インボイス制度の理解のために～ ②商工会におけるインボイス制度への対応	42人 (延べ)
	12月16日(木)	姫路商工会議所			
税務研修会	12月21日(火)	Web	チーフアドバイザー 川淵 佳子氏	①税務の基礎知識、所得税の改正点等 ②消費税の申告事務について	94人 (延べ)
	12月22日(水)				
商工会電子帳簿保存法研修会	1月21日(金)	Web	チーフアドバイザー 川淵 佳子氏	電子帳簿保存法の改正について概要学び、ケーススタディで対応策について確認を行った。	53人 (延べ)
	1月26日(水)				
労務研修会	1月26日(水)	Web	山本 利映氏	SDGsの基礎知識と事業所への導入支援を学ぶ(基礎・導入編)	34人
	2月 3日(木)		三宅 庸仁氏	SDGsの基礎知識と事業所への導入支援を学ぶ(営業・PR編)	



▲スーパーバイザーによる指導を受ける受講者

「先輩の日常業務への理解が深まった」、「商工会の現役職員の指導も受けたい」など、前向きな取り組み姿勢につながる回答が多く寄せられた。

令和4年1月18日にS・Vと県連担当者で今年度事業を振り返り、成果と課題等について確認及び意見交換を行った。

令和3年10月から12月にかけて、新任職員の基礎的経営支援力の向上を図ることを目的として、天崎・黒石・谷垣・上田・小野5名のスーパーバイザー(以下、S・V)が対象職員14名を指導した。派遣実績は県連含む9商工会延べ62回。

## 令和3年度 スーパーバイザー派遣事業 成果報告

S・V側は今回の派遣を振り返り、「コロナ禍の中で多くの職員が先輩職員に質問することを遠慮しているように感じた。今後本事業で少しでも手助けができたらと思う」、「労働保険事務組合の実務は商工会それぞれにやり方があり、支援する範囲も違うが、法律に定められた範囲の基本を理解してもらった良い機会だったのでは」と感想を述べた。

また、管理者層に対しては「男女の区別なく経営支援の機会を与えること」、「一律に新人扱いするのではなく、前職の経験を考慮した業務配置が望ましい」と提言した。

信用保証で、このまちの  
中小企業・小規模事業者を応援します

兵庫県信用保証協会  
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF HYOGO-KEN  
〒651-0195 兵庫県神戸市中央区浪花町62-1  
TEL: 078-393-3900  
https://www.hosyokyoikai-hyogo.or.jp/

# あなたのまちの元気な企業

## 100年企業の新たな挑戦！

吉富瓦産業株式会社（神河町）

創業から受け継ぐ  
技術と頑強な意志！

創業者が明治中期に旧生野町の窯元で瓦づくりを学び、大正5年に良質な瓦粘土が採れた吉富地区に登り窯を築窯し、生産を始めたのが「吉富瓦」である。吉富瓦の特徴は、1250℃

の高温で焼き締め、温度差の激しい寒冷地の気候に耐えられる強度と、備前焼などで用いられる「還元焼成」（低酸素状態で窯を焼く手法）により、釉薬に含まれる酸化鉄が還元され「青銀色」に仕上がる全国的にも珍しい風合いである。

大正から昭和初期にかけて最盛期を迎え、当社を含め複数の窯元が操業し、吉富地区の住民の大半が何らかの形で瓦づくり



▲当社オリジナルの「吉富瓦」と生野瓦を復元した「吉富赤瓦」。

に従事していた。しかし、次第に良質な粘土の採土量が減少し、昭和初期頃には、当社1社が残るのみとなり、需要を一手に引き受けることとなった。

2代目・3代目により、生産設備の近代化が図られ、重油で焼成するトンネル窯（トンネル状の窯を台車に積み上げた製品が数時間かけて、通過することで、連続焼成できる仕組み）を導入し、生産量を大幅に増やした。

当時、トンネル窯による還元焼成の一例が無く、県立窯業試験場などの指導を受けながら試行錯誤の末、日本初のトンネル窯による還元瓦の生産に成功し、マスコミにも大きく取り上げられた。昭和45年には地域のニーズに応え屋根工事を設立し、事業を拡大させてきた。

### 守り続けた技術こそが 一番の経営資源！

昭和60年に4代目の秀樹氏が代表者となり、平成以降も伝統の技術を継承しながら地域に愛される吉富瓦を守り続けて、周

辺地域の既存客や特殊な瓦を数多く使用する寺社仏閣の補修・葺き替えなど小回りの利く、個別対応を中心に受注している。

近年は、住宅様式の変化や物流の発達により軽量瓦や新素材瓦の台頭が著しく、吉富瓦の需要は減少している。

そのため、大量生産を前提としたトンネル窯では生産量の調整が難しく、短期間の操業で、在庫確保と受注生産に対応している状況で、瓦製造は売上の3割程度にまで減少している。



▲独自の宿舎を修復し、瓦の規格と技法が古く、生野瓦の景観を再現した。

平成21年に旧生野鉾山職員宿舎を修復する「生野瓦」復元プロジェクトに、瓦の規格と技法が同じ当社に声がかかり参加した。試作を繰り返し、苦労の末に赤褐色を再現、職人の色づけと窯変によって一枚一枚が違った表情を見せる昔を偲ぶモダンな瓦「吉富赤瓦」を完成させた。

プロジェクトの担当者である神戸大学教授に認められ、吉富赤瓦が同施設をはじめ、生野駅の

駅舎にも使用され、生野鉾山及び鉾山町の文化的景観を維持するための一端を担うことになった。瓦製造の今後に悩んでいた秀樹氏は、「先代から、『もう少し頑張れよ』と背中を押された気がした」と言う。

法で職人として、自分で色を付ける技術を差出人が得意とする。



▲吉富赤瓦の釉薬をかける作業の様子。

### 技術を継承し続ける 新たな試み

5代目の正樹氏は、経験を積み、人的ネットワークを築くため、姫路の住宅販売会社の営業として5年間勤務した後、平成28年から営業担当として家業に従事している。

正樹氏は、昔ながらの風合いを残した商品は、古民家再生などにはもちろん、独自の世界観やストーリー性を重視する新しい価値観を持った世代からの需要があると考え、小規模ながら手作業で受け継いできた独自の技術が吉富瓦の強みになると考えている。

そのため、ヘリテージマネー

ジャー（地域歴史遺産保存活動員）の資格を持つ建築士や工務店、一般消費者などもつながりを持ちたいと語る。

そこで、昨年、屋根瓦専門業者としての知名度をアップするため、小規模事業者持続化補助金を活用し、広報ツールの制作とワークショップ用の電気窯を購入した。

現在は、瓦で小物を作るワークショップを企画し、SNSで発信し、消費者とのつながりを広めるなど、瓦への理解を深め、良さを再認識してもらおう活動で、次の100年に向けた新たな挑戦を続けている。



▲アトリエで開催するワークショップ用に導入した制作した記念品や小物などを焼成している。

#### 【取材先概要】

事業所名／吉富瓦産業株式会社  
代表者／桐月 秀樹  
住所／神崎郡神河町吉富1805  
TEL／0790-32-0890  
URL／<http://yoshitomi-kawara.jp/>



Instagram／[https://www.instagram.com/yoshitomi\\_kawara/](https://www.instagram.com/yoshitomi_kawara/)

# 神河町商工会



会長 **森本 守雄**  
 囲炉裏の宿 豊楽  
 代表者

神河町商工会は、平成20年4月に旧神崎町商工会と旧大河内町商工会が合併して誕生しました。

当会は、合併以前から地域振興事業が盛んで、各種イベントや「自然薯」「ゆず」などを使った特産品開発を各種団体や会員事業所と積極的に連携・協力して取り組み、地域や地域事業者にとって必要不可欠な組織となっております。

また、地域の担い手である青年部・女性部においては、事業承継・経営革新・販路開拓・特産品(カーミン焼き)開発など積極的な事業を展開、更に町行政とも連携しながら創業支援、商品券発行事業、人材確保対策事業や生産性向上支援など様々な経営支援を行うなど、地域一丸となって地域商工業者の底上げを図りながら支援しております。

未だ収束の兆しが見えないコロナ禍ではありますが、役職員が知恵を出し合い、地域商工業者に寄り添った支援と地域活性化に今後とも全力で取り組み、すべての会員事業所にその支援が届くようサポートしてまいります。



▲神河町のゆるキャラ「カーミン」をモチーフにした人形焼き「カーミン焼き」を開発し、販売する女性部員の様子

## 〈職員紹介〉

No.	職名	氏名
1	事務局 局長	岸本 薫
2	事務局 次長	稲垣 幸祐
3	総務課	課長補佐 山名 加織
4		専門員 岩城 京子
5	支援課	課長 中井 将人
6		主任 宮本 雅彦
7		主任 谷下 奨悟
8	主任(兼務)	(宮本 雅彦)
9	振興課	主任(兼務) (谷下 奨悟)
10		主事 有末 健人



## 神河町商工会

・本所  
 〒679-2413  
 兵庫県神崎郡  
 神河町中村29  
 TEL: 0790-32-0295  
 FAX: 0790-32-2355



・大河内支所  
 〒679-3116  
 兵庫県神崎郡  
 神河町寺前218-1  
 TEL: 0790-34-0641  
 FAX: 0790-34-0771



## 地域情報

神河町は、兵庫県のほぼ中央に位置するハート型のまちです。平成17年11月7日に神崎町と大河内町が合併し、神河町が誕生しました。神河町は豊かな自然や農産物、多数の観光資源、文化・スポーツ施設を有するなど、心の豊かさを育むための環境が充実し、また各集落における住民主体の自治活動も活発に行われています。

また近年は、観光産業に力を入れており、日本遺産に認定された「銀の馬車道・鉱石の道」をはじめ、大河ドラマ「平清盛」・「軍司官兵衛」や映画「ノルウェイの森」のロケ地となった砥峰高原や、国内で14年ぶりにオープンした新設スキー場「峰山高原リゾート ホワイトピーク」や巨大ジャングルジム等新たな観光施設や観光資源を活用した観光経済を確立しています。



砥峰高原



スキー場「峰山高原リゾート ホワイトピーク」

CCコラム



兵庫県商工連会  
支援課 課長  
玉越 博充

令和3年4月に福崎町商工会に異動となりましたが、前商工会から引き続きチーフコーディネーターとして新たな環境で経営支援に取り組んでいます。

これまで、個人で経営支援を行うことが多かったのですが、当商工会では、毎月実施している支援会議において、支援企業の情報共有を行い、経営課題について話し合うなど職員間で協力し一丸となって支援を行っています。

今回、コロナの影響を受け、事業の立て直しの相談に求められた事業者への支援事例を紹介いたします。

支援先は、福崎町内で建設機械や産業車両の油圧、自動車電装関係修理などを請け負う事業所で、コロナの感染拡大により大型バスをはじめ観光関連の車両の受注が減少し、売上が減少していました。相談の中で、これまで設備が無く対応できなかったウイ

ング車や冷凍車など大型特殊車両のメンテナンスを行う分野に活路を見い出しました。その後、専門家との相談も交えながら設備の導入で見込める受注数や新事業の実施が会社の将来に与える影響を盛り込んだ経営計画を作成しました。

その経営計画を基に、事業再構築補助金に申請したところ、採択され既に補助事業に着手しています。

これまでに支援経験のない業種でしたが、同僚からの地域情報の提供や専門家からの適切なアドバイスによって会員事業所の期待に応えることができ、個人支援の限界とチーム支援の効率と効果を実感しました。

小規模支援に関する法律が施行されてから、以前に比べ事業者を支援する機会が増えました。商工会を活用する事業者が多くなることで更に支援の輪が広がると考えています。環境の変化に適応しなければ生き残れない厳しい時勢ではありますが、これからも事業者の経営発展に貢献することができると期待しています。

支援事例や  
事業者の声から学ぶ  
CCC研修会

12月16日、兵庫県中央労働センターにおいて、第2回チーフコーディネーター（以下、CC）研修会を開催した。

午前の講義では、兵庫県プロフェッショナル人材戦略拠点の亀井芳郎戦略マネージャーが、大企業等に在籍する外部人材を副業兼業として活用できる、「プロフェッショナル人材戦略拠点事業」の内容を説明し、人材不足の悩みを抱える事業者にぜひ提案してほしいと呼びかけた。

午後からは、CC同士が相互に今後の効果的な経営支援の参考とするため、自身の支援事例や組織的な取組みを発表し合った。初めに、西村CC（丹波篠山市）が経営発達支援計画の目標達成に向けて職員全員で計画進捗管理シートを共有していることを紹介。個人シートの入力が集計シートに反映して進捗状況が可視化されるので、組織として取組むべき課題が明確になったと述べた。

続いて、藤川CC（宍粟市）が発表。伴走型支援のゴール目標である「自走化」に向けて、

事業者と「目標とゴール」を共有し続けたこと、目標を事業者に分かりやすい言葉に、「可視化・言語化」し、具体的に明確な成果を示すことで、目標を達成した事例を紹介した。



▲自身の支援事例を発表する  
藤川CC（宍粟市）

三番目に柳CC（加東市）が組織的な取組みや経営支援事例発表大会で取り上げた支援事業所のその後の姿を披露。事業者が小規模企業から中小企業へ成長したことにより、中長期的な視点からの支援が必要になってくる。相談内容も高度化することから「支援者もレベルアップしていかなければならない」と襟を正した。

最後に、ポストコロナに対応したひとつの支援事例について、支援者側と被支援者側の両者から感想を述べ合ってもらった企画を実施した。

事業者の生の声を聞く機会として、但馬地域で旅行業を営む株式会社たびぞう 大林氏から、

商工会の支援により、コロナ禍で観光客が激減するなか密を避けて電動バイクで自然を感じながら城崎周辺を探索できる新サービス「ぶちたび」について紹介。「コロナ禍で旅行業界が打撃を受けたとき、商工会の支援のおかげで新たな取り組みを決断するきっかけになった」と商工会へ感謝を述べた。

一方、支援した三浦CC（豊岡市）は支援担当者として事業者ごとに到達目標を立て、そこに到達する為にはどう支援するのか、支援ストーリーを自分なりに整備することが重要であること。チーム支援する為には、到達目標をチームで共有することが大切であること。事業者とも目標を共有し、伴走することが重要であることと語った。



▲被支援者側として発表する  
（株）たびぞうの大林氏

なお、今回の事例は12月21日、22日に東京で開催された先進事例普及研修会で兵庫県の事例として三浦CCが発表された。

## 第7回ひょうごいいね！お店表彰 県下会員事業所から5店舗が受賞

県内商店街等に立地する、個性あふれる優良店舗が選定される「ひょうご！いいねお店表彰」を下記の店舗が受賞した。

### 大賞(特色商品部門)

#### ● 戎屋菓子店 (多可町)

代表者：園崎 弘明

所在地：多可郡多可町中区中村町104



明治28年創業の老舗和菓子店。多可町発祥の酒米・山田錦を使用した酒饅「山田錦」や「播州織」「ふるさと鍛冶屋線」「べっちょない」「杉原川」など、多可町や播州地域に因んだ和菓子の数々は、多可町のふるさと納税の返礼品にも登録されており、「多可町を代表するお菓子」として、手土産などで地域住民から広く愛されている。



また近年では、後継者(右写真)が中心となって、和菓子だけでなく多彩な洋菓子の開発・販売にも積極的で、フルーツサンドやデコレーションケーキのPRではSNSを活用することで新規客獲得・売上拡大に成功した。さらに、コロナ禍においては、地域の飲食店等と協力して様々な販促事業に率先して取り組んでいる。



▲多可町発祥の酒米山田錦を使った酒饅「山田錦」



▲SNS映える「フルーツサンド」が人気

### 大賞(こだわりサービス部門)

#### ● デザイン・いんさつ工房 萬まる堂 (宍粟市)

代表者：木南 めぐみ

所在地：宍粟市山崎町山崎82-1



「お客様の想いをカタチに」というコンセプトのもと、親しみやすい雰囲気の内店で個々に合わせたチラシ、看板、商品パッケージのデザインを提案するなど、家族一丸となり、きめ細やかなサービスを提供している。



▲「日よけ幕大作戦」

特に2019年には山崎中心市街地活性化委員会の「日よけ幕大作戦」においては、商店街の店舗ごとの特色溢れるデザインの「日よけ幕」で商店街を彩り、地域でも大変好評であった。



▲地元KY田中農園の商品ラベル

そのほかにも、地元の特産品の商品ラベルのデザインを作成し、宍粟市の地域活性化にはなくてはならない存在となっている。

### 優秀賞

#### ● 丹波菓子 Hiro 正栄 (丹波市)

代表者：進藤 裕樹 所在地：丹波市柏原町田路114-5



大正6年創業の老舗菓子店。丹波の地で約100年、親子4代に亘り地域に根差した営業を展開してきた。平成29年、父から引き継いだ和菓子店を、4代目となる現代表が神戸洋菓子店にて23年間の修業を経て帰郷したのを機に、本格和菓子と本格洋菓子を両方揃えた華やかな店舗にリニューアルしている。店舗には、和と洋の要素を兼ね備えた菓子が並び、



“丹波菓” チーズケーキ ～漣～ Mio



### 入賞

#### ● ライフ・カイロプラクティックラボ (川西市)

代表者：森下 直樹

所在地：川西市栄町10-5/パーティ川西109号  
カイロプラクティックの技術と心理学を応用し、現代のストレス社会における、“こころのケア”を施すサービスを展開。あがり症や子育て疲れの緩和に繋がりが、多くの患者から改善の声があがっている。



### 入賞

#### ● ティーダデザイン (加東市)

代表者：村上 琢也

所在地：加東市社490-28白池テナント1号室

コロナ禍で市内の飲食店のテイクアウトメニューを紹介するWEBサイトを作成したほか、ホームページ、パンフレットのデザイン作成をセットにした「販売促進」のセットプランを提供するなど、地域の小規模事業者、中小企業等に寄り添ったサービスを提供している。



### 経営幹部のためのSDGsセミナー

〈県壮青年部〉

1月19日、Zoom配信を伴うハイブリッド形式で第3回研修会を開催し、15名が出席した。

中小企業のSDGs構築支援を行う、一般社団法人SDGs支援機構 代表理事の河上伸之輔氏を講師に招き、「企業の経営幹部のためのSDGsセミナー」と題した講演会を実施した。

多くの中小・小規模事業者が「自社には関係ない」「大企業が取り組むべきもの」「お金がかかると題した講演会を実施した。」「SDGsを一から学ぶことで『中小企業こそ企業の存続と成長のためにSDGsは不可欠である』ということが理解できた。」

受講者からは「SDGsの視点で事業を見直したい」という感想を多数聞くことができた。



▲開会式の挨拶を述べる藤原部長

なお、急激な新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、当初同日開催を予定していた賀詞交歓会は中止となった。

### 海外消費者向け越境ECモール「兵庫県特産品モール」開設しました

新型コロナウイルス感染症の影響によるインバウンド市場の停滞、縮小に対応し、県産品の海外進出を進める会員事業所等の海外販路開拓支援を目的に、株式会社JTBと連携し、海外消費者向け越境ECモール「兵庫県特産品モール」を12月23日(休)より期間限定で下記の2つのショッピングサイトで開設しました。ご協力いただきました商工会員事業者の商品が多数掲載されておりますので、ぜひご覧ください。

#### 「Buyee」特集ページ「Hyogo Specialty Products Feature」

日本最大の代理購入型ECサイト。国内ECサイト(ヤフー、楽天等)を越境EC化することが可能(海外配送の代行、海外決済、多言語商品ページ生成等)。ユーザー数140万人、年間流通総額200億円強、連携企業数約2,200社。



#### 「Shopee」特集ページ「HYOGO Local Products Shop」

東南アジア最大のECサイト。台湾・タイ・マレーシア・シンガポール、インドネシア、ベトナム、フィリピン、ブラジルの8カ国に展開。東南アジアでショッピングアプリダウンロード数No.1を獲得するなどモバイルを中心に急成長している越境ECプラットフォーム。総ダウンロード数約1億、SNSフォロワー1,000万人。



## 確定申告

～感染リスク軽減のための税務署からのお願い～

**密を避けて**

ご自宅から **スマホ・パソコン** で **e-Tax**

既に80%以上の方が、**確定申告会場**に来場せずに確定申告しています。

- 給与の源泉徴収票をスマホで撮影すると自動入力できます
- マイナンバー連携の自動入力の対象にふるさと納税などが追加されました
- マイナンバーカードをスマホで読み取れば、ICカードリーダーなしでe-Taxできます

**密を作らない**

確定申告会場への入場には**整理券**が必要です(※申告書の提出のみ場合は不要です。)

▶各会場で当日配付します ▶LINEから事前発行もできます

来場される場合はお早めにお越しください。

申告	所得税および復興特別所得税・贈与税	令和4年 3月15日(火)まで
納税	消費税および地方消費税(個人事業者)	令和4年 3月31日(木)まで

詳しくは **確定申告**

申告義務のない方が行う遅延申告は5年間提出することができます。年末調整済みの給与所得のみの方で、医療費控除や寄附金控除(ふるさと納税)により遅延を受ける方がこちらに該当します。

### 中小企業経営者のみなさまへ

国が準備したセーフティネット

## 安心の材料をご提供します。

※詳しくは、ホームページまたはパンフレットをご覧ください

### 小規模企業共済制度

● 制度の特長

- 1 経営者のための**退職金制度**  
小規模企業の個人事業主(共同経営者を含む)または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。
- 2 掛金は**全額所得控除**  
掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。
- 3 受取時も**税制メリット**  
共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

- 契約者貸付けの利用が可能  
契約者(一定の資格者)の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。
- 共済金の受給権は差押禁止  
共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

### 経営セーフティ共済

● 中小企業倒産防止共済制度の特長

- 1 掛金の10倍の範囲内で**最高8,000万円**まで貸付け  
「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額(最高8,000万円)」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年(据置期間6か月を含む)で毎月均等償還です。
- 2 貸付条件は**無担保・無保証人**  
共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けると貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。
- 3 掛金は**税法上損金(法人)または必要経費(個人事業)**に  
掛金月額額は、5千円～20万円の範囲内(5千円単位)で自由に選べます。

24時間・365日 お問い合わせ可能になりました

加入資格・手続きについてのご質問をチャットでご回答いたします。詳しくは右記のQRコード又はホームページからご確認ください。

加入・掛金のご質問はこちらをクリック  
24時間いつでもチャットで質問可能です

小規模企業共済

加入・掛金のご質問はこちらをクリック  
24時間いつでもチャットで質問可能です

経営セーフティ共済

## 緑の募金へのご協力をお願いします

いつも緑の募金にご協力いただき、ありがとうございます。  
緑の募金は、森林ボランティア活動への支援や、子供たちの環境学習などに活用しています。ご協力いただける場合は、次の方法でお願いいたします。

1. 金融機関からのお振込み

1 郵便局(手数料不要)  
専用の払込取扱票をお送りしますので、当協会にご一報ください。

2 銀行(手数料必要)  
口座：三井住友銀行 兵庫県出張所 普通 3198438  
名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

2. キャッシュレス決済  
ソフトバンクの「つながる募金」からキャッシュレスでご協力いただけます。

募金のページ QRコード

公益社団法人 兵庫県緑化推進協会 TEL 078-341-4070 / FAX 078-341-4071  
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号兵庫県林業会館4F  
HP <https://hyogo-green.net/>

## 事業所の地震・津波リスクに備える 火災共済

ひようご共済 地震特約

-ひようごの中小企業を補償でサポート！-

### ひようご共済

兵庫県共済協同組合